

2024.4.27 Sat.
— 6.30 Sun.



開催時間：九時三十分～十七時（入場は三時前まで）
休館日：毎週月曜日（ただし五月二十九日、五月六日は閉館）、五月七日～迄
主催：三重県立美術館、中日新聞社
協力：京都府京都市文化博物館、板橋区立美術館
協賛：公益財団法人ボムラ美術館、財団
公益財団法人阿南文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会



The 100th
Anniversary of
"Manifeste du
surréalisme"

『シュルレアリスム宣言』100年
Surrealism

シュルレアリスムと日本

and Japan



三重県立美術館

1. 美術書『シュルレアリスムの歴史』1979年、SCOPPO美術館 ©Suzuki Museum of Art, 2024 2. 雑誌『美術』1937年、東京国立近代美術館 3. 雑誌『美術』(5巻4号上)1939年、東京国立近代美術館

『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本

今から百年前の1924年、フランスの詩人、アンドレ・ブルトンが「シュルレアリスム宣言」を発表し、現代文化に幅広い影響をおよぼした20世紀最大の芸術運動、シュルレアリスムが創始されました。人間の無意識や驚異の美を探求し、精神の自由と解放をめざしたこの運動は、やがて各国に広がります。

日本でも1920年代末から古賀春江(こがはるえ)や福沢一郎(ふくざわいちろう)らがシュルレアリスムを導入し、30年代にはシュルレアリスムの絵画表現が盛り上がります。三岸好太郎(みぎしこうたろう)、北脇昇(きたわきのぼる)、鬘光(あいみつ)、岡本太郎(おかもとたろう)らが注目すべき創作を行い、画学生たちは前衛グループを結成して美術界の新しい勢力となりました。しかし、まもなく日本の軍国主義はこの運動を弾圧し、戦争で多くの画家の命が奪われ、散逸、焼失した作品も少なくありません。

この展覧会では、昭和戦前期における日本のシュルレアリスム表現を、現存する絵画、デッサン、写真など約90作家の作品および資料、総計約200点によって約30年ぶりに大規模に紹介します。

*会期中、一部展示替えをおこないます。

展覧会概要

会 期：令和6年(2024年)4月27日(土)から6月30日(日)まで

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)

主 催：三重県立美術館、中日新聞社

協 力：京都府京都文化博物館、板橋区立美術館

助 成：公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会

観 覧 料：一般1,000(800)円 学生800(600)円 高校生以下無料

* ()内は前売および20名以上の団体割引料金

* この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

* 生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

* 障害者手帳等(アプリも含む)をお持ちの方が観覧する場合、付き添いの方1名も観覧無料。

* 県内学校(小・中・高・特支)等が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

* 毎月第3日曜の「家庭の日」(5月19日、6月16日)は団体割引料金でご覧いただけます。

* 主な前売券発売所：チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

展覧会のみどころ

1. 日本のシュルレアリスム絵画の全貌を30年ぶりに紹介！！

戦前に盛り上がったシュルレアリスムの表現を伝える貴重な絵画の数々をまとめて大規模に展示するのは、1990年名古屋市美術館での「日本のシュルレアリスム 1925-1945」展以来、34年ぶり。本展は、当時の最先端の活気ある芸術を体験する貴重な機会です。

2. 美術史に残る名品から戦没画学生の貴重な作例まで

近代絵画史に名を残す古賀春江（こがはるえ）、三岸好太郎（みぎしこうたろう）、鬘光（あいみつ）らの美術史上、重要な代表作をまとめて公開。

シュルレアリスムの隆盛を担った当時の画学生たち、浅原清隆（あさはらきよたか）ら、多くの才能ある若い画家は戦死しています。本展ではこれまでに発見された彼らの数少ない貴重な作品と多くの資料を全国の所蔵者から借用し、まとめて展示します。

3. 連続レクチャーなど充実したイベントと情報満載の図録

会期中には、2週間ごとに気鋭の研究者をお招きする全5回の連続レクチャーを開催。ギャラリートークもほぼ隔週で開催し、展示内容をやさしく解説します。

また、展覧会にあわせて刊行した図録は、戦前日本のシュルレアリスムに関する最新の研究にもとづく情報と貴重な図版を満載した、このテーマの書籍の決定版です。

会期中のイベント

*手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

◆開催記念連続講座「シュルレアリスムと〈場所〉」

1. 「シュルレアリスムと日本という場所」

講師 速水 豊（三重県立美術館館長）

日時 5月4日（土・祝）午後2時～

2. 「京都とシュルレアリスム」

講師 清水 智世（京都府京都文化博物館学芸員）

日時 5月18日（土）午後2時～

3. 「シュルレアリスムと名古屋」

講師 副田 一穂（愛知県美術館学芸員）

日時 6月1日（土）午後2時～

4. 「池袋モンパルナスとシュルレアリスム」

講師 弘中 智子（板橋区立美術館学芸員）

日時 6月15日（土）午後2時～

5. 「三重の二人の前衛」

講師 原 舞子（三重県立美術館学芸員）

日時 6月29日（土）午後2時～

各回約70分

会場 三重県立美術館地下1階講堂

定員 150名

参加費無料

当日先着順（直接講堂にお越しください。午後1時30分に開場します。）

◆ギャラリートーク

本展の企画者である当館館長による展示解説です

日時 5月12日（日）、5月26日（日）、6月9日（日）、6月23日（日）

各回とも午後2時～（約20分）

会場 三重県立美術館企画展示室

*展示室に入るため、観覧券が必要です。

広報文（約 200 文字）＊紙面作成時、ご自由にお使ください。

20 世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。フランスで誕生し、各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼした運動は、日本の芸術家をも魅了しました。アンドレ・ブルトンの『シュルレアリスム宣言』の発表から 100 年を記念して行われる本展では、シュルレアリスムの影響を受けた日本の絵画作品を通して、多様なイメージの展開をご紹介しますとともに、彼らが生きた時代を振り返ります。

広報用画像のご提供について

次ページ以降に掲載の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は、注意事項をお読みの上、下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。Eメールにて画像をお送りします。

■掲載にあたってのお願い

- ・各画像下のキャプション（作品名、所蔵者名）を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を 1 部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

■お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課（村上, 道田）

TEL:059-227-2100（代表）／FAX.:059-223-0570

Eメール:bijutsu2@pref.mie.lg.jp

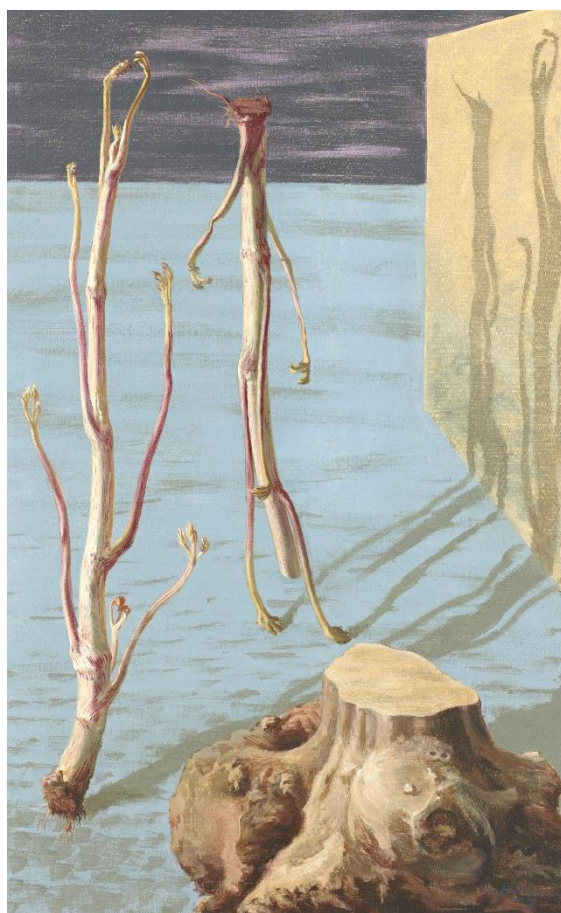
〒514-0007 津市大谷町11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

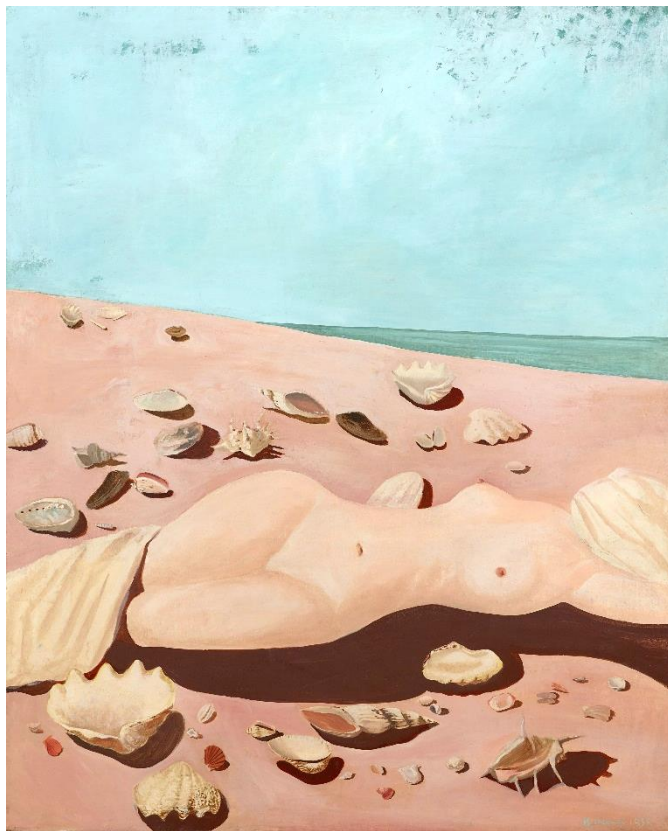
Follow us on X @mie_kenbi



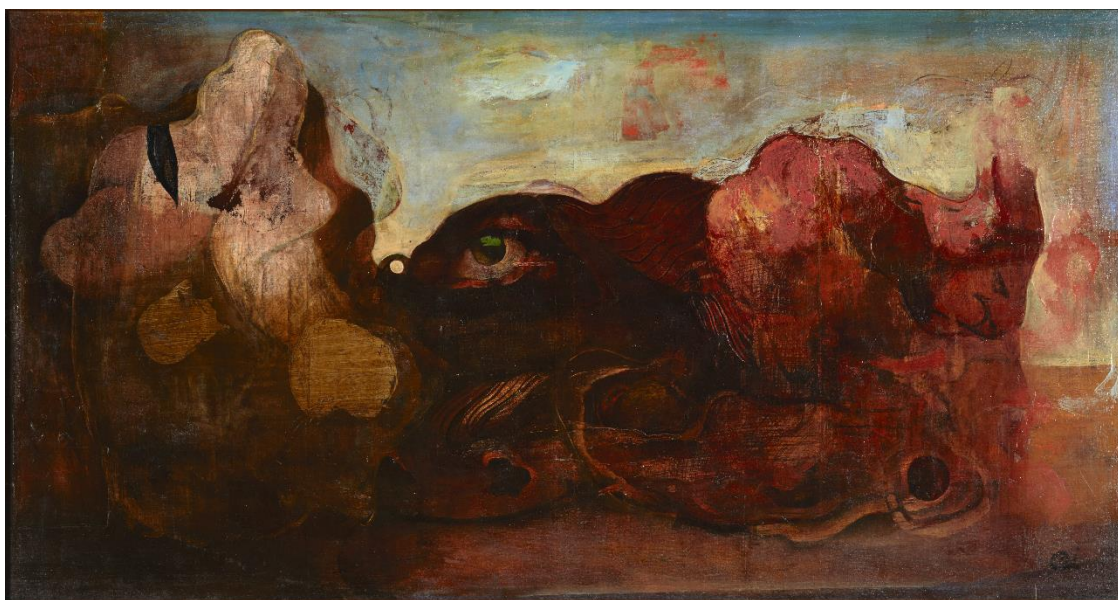
①浅原清隆《多感な地上》1939年 東京国立近代美術館



②北脇昇《独活》1937年 東京国立近代美術館



③三岸好太郎 《海と射光》1934年 福岡市美術館



④鬚光 《眼のある風景》1938年 東京国立近代美術館